

3. 数学

科目	数学Ⅰ①	単位数	2	区分	選択必修
教科書・教材	実教出版「高校数学Ⅰ」		配当年次	1年次	
授業のねらい・概要					
中学校の数学の知識を確認しながら、2次関数など高等学校での新しい内容を学び、数学の教養をより深める。					
授業の進め方					
授業プリントを中心に講義と問題演習を繰り返して学習する。					
学習の内容				考查	時数
前期	4月	数と式（中学校の知識の確認）		中間	17
	5月	・正負の数、さまざまな有理数の四則演算			
	6月	・文字式の計算		期末	
	7月	・多項式の計算			
	9月	・因数分解			
後期	10月	方程式		中間	17
	11月	・一次方程式、連立方程式			
	12月	・方程式の利用		期末	
	1月	関数			
	2月	・一次関数			
評価の方法					
出席状況、授業態度、定期テストを総合的に判断する。					
備考					
1,2年次で分割履修「数学Ⅰ」と「数学基礎」の2科目から選択必修					

科目	数学Ⅰ②	単位数	2	区分	選択必修
教科書・教材	実教出版「高校数学Ⅰ」		配当年次	2年次	
授業のねらい・概要					
中学校の数学の知識を確認しながら、2次関数など高等学校での新しい内容を学び、数学の教養をより深める。					
授業の進め方					
授業プリントを中心に講義と問題演習を繰り返して学習する。					
学習の内容				考查	時数
前期	4月	平方根		中間	17
	5月	・根号を含む式の計算			
	6月	二次方程式		期末	
	7月	・二次方程式			
	9月	・二次方程式の利用			
後期	10月	一次不等式		中間	17
	11月	・不等式とその解			
	12月	二次関数		期末	
	1月	・二次関数とそのグラフ			
	2月	・二次関数の値の変化			
評価の方法					
出席状況、授業態度、定期テストを総合的に判断する。					
備考					
1,2年次で分割履修「数学Ⅰ」と「数学基礎」の2科目から選択必修					

科目	数学Ⅱ	単位数	2	区分	選択
教科書・教材	実教出版「高校数学Ⅱ」		配当年次	3年次または4年次のどちらか	
授業のねらい・概要					
数学Ⅰの知識を復習しながら、いろいろな関数など新しい内容を学び、数学の教養をより深める。数学が日常生活に役立っていることを知ることで、学んだ成就感を得る。					
授業の進め方					
授業プリントを中心に講義と問題演習を繰り返して学習する。					
学習の内容				考查	時数
前期	4月	2次関数		中間	17
	5月	・2次関数のグラフと2次方程式			
	6月	・2次関数のグラフと2次不等式		期末	
	7月	図形と計量			
	8月	・鋭角の三角比			
後期	9月	・三角比の拡張		中間	17
	10月	方程式			
	11月	・複素数と2次方程式		期末	
	12月	図形と方程式			
	1月	・座標と直線の方程式			
2月	・円の方程式				
評価の方法					
出席状況、授業態度、定期テストを総合的に判断する。					
備考					
特になし					

科目	数学基礎	単位数	2	区分	選択必修	
教科書・教材	実教出版「数学基礎」		配当年次	3年次または4年次のどちらか		
授業のねらい・概要						
授業の基礎・基本となる計算力を高め、高校数学の理解を深めるための基礎力を身につけるとともに、身近にある簡単な数学の問題にもふれながら数学の楽しさやよさについても学ぶ。						
授業の進め方						
授業プリントを中心に講義と問題演習を繰り返して学習する。						
		学習の内容			考查	時数
前期	4月	数学と人間の活動			中間	17
	5月	・位取りと記数法 ・遊びの中の数学 ・文字と方程式 ・三平方の定理				
	6月	・G P S ・単利と複利 ・ローンの計算				
後期	7月	社会における数理			期末	18
	8月	・あみだくじの数理				
	9月	・道の面積				
後期	10月	資料の整理			中間	17
	11月	・統計データ ・データのグラフ化 ・データの整理, データの変化と関				
	1月	資料の傾向と把握				
2月	・資料の傾向の把握			期末	18	
評価の方法						
出席状況、授業態度、定期テストを総合的に判断する。						
備考						
特になし						

科目	わかる数学	単位数	2	区分	選択	
教科書・教材	なし		配当年次	3年次または4年次のどちらか		
授業のねらい・概要						
数学の基礎・基本となる計算力を高め、高校数学の理解を深めるための基礎力を身につけるとともに、高校数学の指数や対数、三角関数等についてもふれながら数学の教養を深める。						
授業の進め方						
授業プリントを中心に講義と問題演習を繰り返して学習する。						
		学習の内容			考查	時数
前期	4月	数と式			中間	17
	5月	・正負の数の計算 ・文字式の計算				
	6月	・方程式				
後期	7月	指数			期末	18
	8月	・指数の意味と計算				
	10月	対数				
後期	11月	・対数の性質と計算			中間	17
	12月	三角関数				
	1月	・一般角・三角関数の値				
2月	・弧度法・おうぎ形の弧の長さ			期末	18	
評価の方法						
出席状況、授業態度、定期テストを総合的に判断する。						
備考						
特になし						

科目	数学A	単位数	2	区分	選択	
教科書・教材	実教出版「高校数学A」		配当年次	4年次		
授業のねらい・概要						
順列、組合せ、確率について、基礎的な知識と技術の習得を図り、それらを活用する能力をつけるとともに、数学的な考え方、ものの見方ができるようにする。						
授業の進め方						
授業プリントを中心に講義と問題演習を繰り返して学習する。						
		学習の内容			考查	時数
前期	4月	順列と組合せ			中間	17
	5月	・積の法則・順列				
	6月	・重複順列・円順列・順列の応用				
後期	7月	・組合せ・組合せの応用			期末	18
	8月	集合				
	9月	・集合と部分集合・共通部分, 和集合, 補集合・集合の要素の個数				
後期	10月	確率とその基本性質			中間	17
	11月	・事象と確率・確率の計算				
	12月	・和事象の確率・余事象の確率				
1月	・独立な試行と確率			期末	18	
2月	・期待値					
評価の方法						
出席状況、授業態度、定期テストを総合的に判断する。						
備考						
特になし						